

有明海異変と 諫早湾干拓の 関連解明に向けて

助成研究論文集

2006



財団法人 自然保護助成基金

財団法人自然保護助成基金
創立10周年記念助成研究論文集

有明海異変と諫早湾干拓の 関連解明に向けて

有明海低次生態系モデリンググループ
有明海表層流観測グループ
有明海・諫早湾底層環境調査研究グループ
諫早湾保全生態学研究グループ

目 次

口 絵	I
はじめに	財団法人 自然保護助成基金..... 1
I 人間活動による有明海のリン・窒素・珪素循環の変化…有明海低次生態系モデリンググループ.....	5
有明海の環境変化の原因	柳 哲雄..... 7
II 有明海北部における表層流の動向と赤潮発生の関係について …有明海表層流観測グループ.....	51
GPS 搭載漂流ブイを用いた有明海の表層流調査.....	高橋 徹・堤 裕昭・杉山聖彦..... 53
III 有明海・諫早湾の底層環境の変化とそれが底棲生物に与える影響	有明海・諫早湾底層環境調査研究グループ..... 89
諫早湾及び諫早干拓調整池の音波探査	松岡數充..... 91
有明海・諫早湾における貧酸素水塊の出現状況（2003-2004年）	松岡數充・水島康一郎・広瀬雄太.....103
底泥の酸素消費および栄養塩溶出に関する実験的研究	古本勝弘.....119
諫早湾のセディメントトラップ試料 S 9 の元素組成の特徴	石賀裕明.....123
干拓による有明海の潮流の変化：1940年代と1990年代の比較	万田敦昌・松岡數充.....127
IV 諫早湾干拓事業に伴う「有明海異変」に関する保全生態学的研究	諫早湾保全生態学研究グループ.....129
諫早湾干拓事業に伴う有明海異変に関する保全生態学的研究	東 幹夫.....131
資料 1. 研究活動報告書（概要）.....	149
資料 2. 有明海を科学し再生の道をさぐる	154
資料 3. 諫早湾干拓事業が有明海の流動構造へ及ぼす影響の評価.....	180
資料 4. 干拓堤防締切り後の諫早湾および有明海中央部における二枚貝類の変化.....	185
資料 5. 諫早湾潮止め後の有明海における二枚貝群集の変化.....	195

はじめに

財団法人自然保護助成基金は2003年春、創立10周年を記念して、昨今わが国最大の自然環境問題となっているいわゆる「有明海異変」に関する研究に対して、特別助成を公募し、審査の結果、4件の研究グループに合計1,350万円の助成金を交付した。研究期間2年余を経て、いまここに当財団に提出された4研究の報告を取りまとめ、助成研究論文集として刊行することとした。

この2年の期間中にも、諫早干潟干拓の工事は進行し、完工まであと数パーセントを残すのみとなったが、有明海の異変はさらに深刻さを増している。他方、異変の原因解明はある程度進捗して、多くの開発が複合的に有明海の環境を悪化させてきたところへ、諫早湾干拓が止めをさしたというのが、多数の見解となっている。しかしながらその因果関係は、水門の中長期開門調査が、大方の実施意見にもかかわらず、農林水産省の反対により実現されず、これがネックとなって、最終結論を見出せぬまま、「科学的解明」は膠着状態が続いている。

この間「豊饒の海」といわれた有明海の漁業はますます生産を落とし、先の見えない漁業者は暗澹たる思いで海を見つめている。なんとか早く自分たちの海を取り戻したいという漁業者の願いも、裁判所・公害等調整委員会の「科学的証明不十分」という判決・裁定によって、むなしいものとなっている。

農林水産省がかたくなに拒否する開門調査実施の声が高まるなか、その引き金となることを念じて、当基金はいまこの論文集を関係処方面に配布することとしたい。

2006年3月

財団法人 自然保護助成基金

「有明海異変と諫早湾干拓の関連解明に向けて」正誤表

ページ	上・下から何行目	誤	正
1	下 4	関係処方面	関係諸方面
149	下 8	資料2. p. 164.	資料2. p. 169.
150	上 5	資料2. p. 167参照	資料2. p. 172参照
150	上19 - 20	資料2. p. 168参照	資料2. p. 173参照
150	下 2	資料2. p. 159参照	資料2. p. 164参照
151	上11	資料2. p. 158参照	資料2. p. 163参照
153	上12	知見をもたらした。	知見をもたらした。* ²
153	上13	潮止前後* ² の多毛類相	潮止前後の多毛類相
153	脚注* ¹	p. 163、165参照	p. 168、170参照
153	脚注* ²	p. 166、資料4.	p. 171、資料4.
153	脚注* ³	p. 152参照	p. 157参照
153	脚注* ⁴	p. 173、174参照	p. 178、179参照

**有明海異変と諫早湾干拓の関連
解明に向けて—助成研究論文集—**

2006年3月発行

編集・発行 財団法人自然保護助成基金

〒150-0046

東京都渋谷区松濤1-25-8

松濤アネックス2F

電話 03-5454-1789

印刷 明誠企画株式会社